

1 法人の概要

名 称 学校法人 松江幼稚園 (昭和56年4月1日法人設立)
 理事長 石本 倫章
 住 所 和歌山市松江中3丁目1番35号
 電 話 073-453-0050 FAX 073-453-0099
 設置校 まつえ幼稚園 (昭和24年10月1日創立)
 役 員 理事 12名、監事 2名 評議員 25名
 理事会 4回開催 評議員会 4回開催
 職員数 園長 1名
 教頭 1名
 主幹保育教諭 2名
 教諭 30名 (内、学年主任4人、準正職12名)
 パート教諭 17名 添乗員 4名
 事務長 1名
 事務員 1名 パート事務員1名
 委託職員 運転手 4名 調理員 6名 用務員 2名

2 事業の概要

(1) 教育方針

本園は、子ども一人ひとりを見つめ、発達段階に応じて、子どもの主体的な活動を促し、自発的な遊び活動を通して、知・徳・体の調和のとれた保育により、生きる力を身につけた子どもの育成をめざします。

(2) 事業内容

- ① 教育事業1号認定 (年長・中・少・満3歳) 教育時間9:00～15:00
- ② 保育事業2号認定 (年長・中・少) } 保育時間7:30～18:30 (標準)
- 3号認定 (2歳児・1歳児) } 8:00～16:00 (短時間)
- ③ 預かり保育・延長保育
- | | | |
|------------|-------|-------------|
| 1号 | 早朝 | 7:30～ 8:40 |
| | 保育終了後 | 15:00～17:30 |
| | 延長 | 17:30～18:30 |
| 2・3号 (短時間) | 早朝 | 7:30～ 8:00 |
| | 延長 | 16:00～18:30 |

(3) 事業報告

令和2年度から幼保連携型認定こども園となり、6年目を迎えました。

今まで同様、子ども主体の教育方針は変わらず、幼稚園と保育園両方の機能を併せ持ったことで、より保護者の要望に応えられる教育環境になったのではないかと考えます。

(4) 在園児数

令和6年度定員及び在園児数

	定 員 (人)		在 園 (人)		
	1 号	2・3 号	1 号	2・3 号	クラス数(クラス)
年 長	1 0 0	2 0	4 6	3 1	3
年 中	1 0 0	2 0	5 3	4 2	4
年 少	1 0 0	2 0	4 5	3 5	4
満 3 歳児	2 0		3 7		2
2 歳児		1 8		1 7	1
1 歳児		1 2		1 2	1
0 歳児		6		3	1

R7.3. 1 現在

(5) 保育の計画性・保育の在り方

しつけの3原則「挨拶をする」「履物をそろえる」「ハイとはっきり返事」が大切だと考えています。子どもたちが、いろいろな行事・遊び・生活体験を積み重ね生涯にわたる人間形成の基礎を培い、自立し、他者と協働しながら、創造的に生きていくために必要な能力が身につくよう指導と援助を行い保育しています。

(6) 教員の資質向上

学級担任は、日々研鑽して保育の質の向上を図るとともに、自己の保育の在り方について毎学期自己評価しています。また、幼稚園教育要領の内容である「5領域」を部会に分かれ研究し、毎学期発表しています。

5領域の各部会の研究テーマ		
	領域名	研究テーマ
1	健康	食育を通して子どもの食に関する意識を高め、食への意欲の変化を追う
2	人間関係	友達や保育者と関わることで、子どもたちの気持ち(どのように変化)成長)するかを追う
3	環境	子どもたちが遊びこめる環境とはどのようなものか、遊びこめる環境をつくるためにはどのように環境を整えていくのか(配置、もの等)を考える
4	言葉	絵本に親しむ中で様々な言葉に触れ、言葉に対する感覚を豊かにする
5	表現	音楽活動を通して子どもたちの表現する力がどのように育っていくのかを追う

(7) 地域との連携

幼稚園や家族を包む地域は、子どもが異なる世代の人々と交流し、様々な体験や遊びを通して協調性や生活の知恵を学ぶことにより、社会性や豊かな人間性を育む場として大きな影響力を持っています。幼稚園・家庭・地域が連携しながら地域全体で子どもの育ちを支えていく必要があります。

○ 地域交流…松江春日神社夏・秋祭りへの参加 事前音楽会 松江地区避難訓練への参加

ふれあいお食事会でのお年寄りとの交流

○ 小学校交流…どんぐり拾い、学校見学

(8) 安全管理

- 毎月避難訓練（地震、火災、水害、津波、不審者侵入）を実施しました。
- 学年毎に、平日に実施日を設定し、保護者への引き渡し訓練を実施しました。
- 園の施設・設備・遊具等の安全点検を担当や週番が確認しています。
- 砂場は月に1回消毒しています。

(9) 園で実施している各行事・活動

- 各学期に1つ大きな行事を実施しています。
 - ・ 1学期…運動会 ・ 2学期…発表会（劇） ・ 3学期…音楽会（合唱・合奏）
- 年2回「なかよしタイム」で、異年齢の活動及び体育的・音楽的・造形的活動を経験しました。
 - ・ 9月19日（木） ・ 2月27日（木）
- 「まっつこタイム」は、土曜日に保護者と一緒に楽しめるイベントです。年間5回実施しました。
 - 6月 8日…親と一緒に和太鼓の演奏を聞き、和太鼓のたたき方を教えてもらいました。
 - 7月 6日…親子で人形劇「くまたにおまかせ」（どむならん）を鑑賞しました。
 - 9月28日…親子で河西緩衝緑地へ行き、ウォークラリーをしました。
 - 1月11日…親子で楽しく防災を体験し、自然災害について考える機会をもちました。
 - 3月 2日…まっつこフェスを実施し、園児・保護者だけでなく、一般の方の参加もありました。
- 未入園児対象の「あそぼう会」を年間5回実施しました。
 - ・ 5月18日（土）…31組参加 ・ 7月 6日（土）…9組参加（上記まっつこタイムと合同）
 - ・ 8月24日（土）…55人参加 ・ 9月 9日（月）…70人参加
 - ・ 2月22日（土）…64人参加
- 未入園児対象の「まっつこ KIDS」「まっつこ BABY-KIDS」「まっつこ BABY」を実施しました。
 - ・ まっつこ KIDS…R3. 4. 2～R4. 4. 1 生まれの子ども対象で、26回/年実施しました
 - ・ まっつこ BABY-KIDS…R4. 4. 2～R5. 4. 1 生まれの子ども対象で、19回/年実施しました。
 - ・ まっつこ BABY…R5. 4. 2～R6. 4. 1 生まれの子ども対象で、8回/年実施しました。

(10) その他

3 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況と経年比較

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
固定資産	856,353,814	876,581,647	801,921,375	814,447,193	755,421,791
流動資産	54,433,849	48,575,354	108,559,150	107,865,597	140,953,927
資産部の合計	910,787,663	925,157,001	910,480,525	922,312,790	896,375,718
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	17,012,946	7,818,860	4,856,468	4,056,201	6,598,551
負債の部合計	17,012,946	7,818,860	4,856,468	4,056,201	6,598,551
基本金	1,062,675,682	1,056,946,042	1,002,283,967	993,873,931	968,160,571
繰越収支差額	△168,900,965	△139,607,901	△96,659,910	△75,617,342	△78,383,404
純資産の部合計	893,774,717	917,338,141	905,624,057	918,256,589	889,777,167
負債及び純資産の部合計	910,787,663	925,157,001	910,480,525	922,312,790	896,375,718

② 資金収支計算書関係

収入の部	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
学生生徒等納付金収入	16,362,050	14,456,500	13,907,850	13,960,990	16,249,010
手数料収入	85,000	74,000	101,000	93,000	97,000
寄付金収入	431,000	491,000	518,000	481,000	712,710
補助金収入	274,758,796	260,222,513	291,885,460	238,657,715	227,490,284
資産売却収入	0	0	0	167,940	10,824
付随事業・収益事業収入	23,090,510	24,193,190	24,751,091	27,213,176	6,453,969
受取利息・配当金収入	42,997	1,187	1,103	1,452	204,740
雑収入	2,628,527	2,222,263	2,785,198	2,349,211	3,520,765
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	4,000,000	0	0	0	0
その他の収入	81,480,122	115,075,090	62,374,596	52,731,388	270,859,052
資金収入調整勘定	△ 19,337,629	△ 17,465,170	△ 67,608,036	△ 13,609,830	△ 9,092,850
前年度繰越支払資金	29,748,122	38,421,571	90,558,743	126,761,372	118,136,819
収入の部合計	413,289,495	437,692,144	419,275,005	448,807,414	634,642,323

支出の部	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
人件費支出	221,555,441	177,587,316	167,335,165	151,080,612	140,860,733
経費支出	93,056,476	91,098,991	156,778,511	83,470,306	69,686,152
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	49,972,912	6,042,270	22,215,747	20,370,255
設備関係支出	5,947,140	5,946,656	3,899,506	6,702,423	8,621,781
資産運用支出	9,610,964	40,000,966	3,899,506	50,001,376	56,104,833
その他支出	57,640,102	50,157,084	50,904,882	48,496,275	217,361,848
資金支出調整勘定	△ 9,422,267	△ 6,819,903	△ 4,107,864	△ 3,718,068	△ 5,124,651
翌年度繰越支払資金	34,901,639	29,748,122	38,421,571	90,558,748	126,761,372
支出の部合計	413,289,495	437,692,144	419,275,005	448,807,414	634,642,323

③ 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	16,362,050	14,456,500	13,907,850
	手数料	85,000	74,000	101,000
	寄付金	431,000	491,000	518,000
	経常費等補助金	274,758,796	260,222,513	291,885,460
	付随事業収入	23,090,510	24,193,190	24,751,091
	雑収入	2,628,527	2,222,263	2,785,198
	教育活動収入計	317,355,883	301,659,466	333,948,599
	事業活動支出の部			
	人件費支出	221,555,441	177,587,316	167,335,165
	経費支出	119,270,412	111,377,378	179,247,063
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	340,825,853	288,964,696	346,582,228
	教育活動収支差額	△ 23,469,970	12,694,772	△ 12,633,629
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	42,997	1,187	1,103
	その他教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	42,997	1,187	1,103
	事業活動支出の部			
	借入金当利息	0	0	0
	その他教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	42,997	1,187	1,103
	経常収支差額	△ 23,426,973	12,695,959	△ 12,632,526
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	1	981,875	6
	その他特別支出	0	0	0
	特別支出計	1	981,975	6
	特別収支差額	△ 1	△ 981,975	△ 6
	基本金組入前当年度収支差額	△ 23,426,974	11,714,084	△ 12,632,532
基本金組入額合計		△ 5,729,640	△ 54,662,075	△ 8,410,036
当年度収支差額		△ 29,156,614	△ 42,947,991	△ 21,042,568
前年度繰越収支差額		△ 139,744,351	△ 96,659,910	△ 75,617,342
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 168,900,965	△ 139,607,901	△ 96,659,910
(参考)				
事業活動収入計		317,398,880	301,660,653	333,949,910
事業活動支出計		340,825,854	289,946,569	346,582,234

4 今後の課題

《園児獲得》

子どもの減少により今後ますます園児獲得が課題となります。特に共働き家庭の増加により、幼稚園部の応募園児が減少傾向にあると言われています。本園も徐々に減少傾向になるものの、現状維持ができています。しかし、今後も園児数を維持していくために、2・3号の定員増を検討する必要があると考えます。

《保育士の獲得》

全国的に保育士を志望する学生が減少しています。本県でも信愛短大が閉鎖となり、保育士の確保が喫緊の課題となっている施設が多数見られます。幸いにも、本園は現時点では必要な人数は確保しています。令和7年度も新卒者2名を迎えることができました。両名とも本園の卒園児であり、保育士を志した時から本園での就職を希望してくれていました。しかし、退職者も1名おりましたように、今後も退職希望の教員が出てくることも考えられますので、十分な人数の保育士を確保する必要があると考えます。